

全鉄連流通動態調査結果表 平成26年8月分

(26.9.25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		7月実績	前月比	8月実績	前月比	8月実績	前月比	8月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	9,758	100.3%	59,068	88.7%	59,094	88.8%	9,732	99.7%	
	大阪	6,219	96.8%	25,254	88.4%	24,724	85.9%	6,749	108.5%	
	愛知	7,495	101.7%	2,154	70.1%	2,090	70.8%	7,559	100.9%	
	計	23,472	99.8%	86,476	88.0%	85,908	87.4%	24,040	102.4%	
形 鋼	山形鋼	東京	19,878	95.9%	7,624	77.7%	8,280	77.6%	19,222	96.7%
		大阪	21,319	99.2%	10,169	91.0%	9,434	83.2%	22,054	103.4%
		愛知	12,502	99.1%	5,752	91.3%	5,570	86.9%	12,684	101.5%
		計	53,699	97.9%	23,545	86.3%	23,284	81.9%	53,960	100.5%
	溝形鋼	東京	17,133	95.5%	5,925	86.0%	6,079	79.0%	16,979	99.1%
		大阪	13,687	99.1%	5,774	83.6%	6,344	90.3%	13,117	95.8%
		愛知	8,480	98.8%	4,310	88.4%	4,555	91.5%	8,235	97.1%
		計	39,300	97.5%	16,009	85.7%	16,978	86.2%	38,331	97.5%
	H形鋼	東京	30,937	100.9%	15,499	95.6%	16,477	103.3%	29,959	96.8%
		大阪	39,516	97.6%	25,608	100.4%	24,757	93.5%	40,367	102.2%
		愛知	24,132	101.2%	11,209	88.3%	11,707	94.3%	23,634	97.9%
		計	94,585	99.6%	52,316	96.1%	52,941	96.5%	93,960	99.3%
合 計		187,584	98.6%	91,870	91.5%	93,203	90.5%	186,251	99.3%	
コ ラ ム	東京	8,728	108.9%	2,217	71.1%	2,554	106.2%	8,391	96.1%	
	大阪	7,654	93.5%	3,692	98.9%	3,495	81.9%	7,851	102.6%	
	愛知	2,392	106.9%	2,259	77.3%	2,379	86.0%	2,272	95.0%	
	計	18,774	101.8%	8,168	83.6%	8,428	89.3%	18,514	98.6%	
軽 量 C 形 鋼	東京	3,887	101.1%	2,173	80.7%	2,191	82.6%	3,869	99.5%	
	大阪	3,664	98.8%	1,970	85.6%	1,830	78.1%	3,804	103.8%	
	愛知	2,667	100.6%	1,163	78.7%	1,123	76.9%	2,707	101.5%	
	計	10,218	100.1%	5,306	82.0%	5,144	79.7%	10,380	101.6%	
総 計		240,048	99.1%	191,820	89.3%	192,683	88.7%	239,185	99.6%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京33 大阪21 愛知15 合計69社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しを提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりブレン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キー須トンを除く③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機械である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。